

嬉野東自治会との意見交換会記録（要約）

平成25年2月23日（土） 午前10時30分 開会

出席者

●産業建設常任委員会委員 委員長 二階一夫、副委員長 桑村繁則、委員 藤田靖夫、委員 山本通廣、委員 小紫泰良

○嬉野東自治会役員 自治会長 立岡、副会長 二川、総務部長 若宮夫妻、社会教育委員 矢野、水道会計 三浦、元老人会長 岡本夫妻、元総務部長 大門

．．．．意見交換会．．．．

挨拶 自己紹介

○自治会長 立岡

政策決定の判断材料になればと思っている。

市との協議は（11月から）ストップしたまま。

水道の危機。

○自治会 若宮

雨が降ると水道水が濁る。衛生上どうか。市としてどう対応してくれるのか。

○自治会 三浦

毎年300万円は必要。人件費・修繕費を入れると800万円。水道料金ではおっつかない。水道の事故・故障は何時発生するかわからない。老朽化していて漏水がひどい。市からの水は半分捨て水。

○自治会長 立岡

住民が管理できる代物ではない。スピードを上げて（対応）してもらいたい。

自治会としては、ぶれないで第1案をお願いしている。2案から4案は善意の案として受け止めているが、有収率を85%まで上げるのに必要な費用が算出できない案である。消火栓もつかない。道路も現状のまま。

国庫補助金については方向性が決まっていると思っている。今回の防災・安全・安心交付金を活用して、市・市民の負担を軽減するしかない。一般会計から（補助は）出ないのか。内部留保金はどうか。

●二階委員長

市との協議は11月からストップしたままなのか。

○自治会長 立岡

そうだ。市長との協議を文書で申し入れている。（上下水道部の）段階を越えているので、市長と話してほしいとのこと。

●二階委員長

議員としては「こうします」とは言えないので。

●桑村副委員長

第2案は、市との協議の中で出たものではないのか。

○自治会長 立岡

そうではない。

●藤田委員

市がほったらかしにしてきたという認識か。管理会社だと言いたいが。原点で話が食い違うとまずい。協議がないのに3案の2が出てきているのを承知しているのはどういうことか。水面下か個人的にか、何らかの接触があるのではないのか。

管理会社に頼って、市に面倒見てもらう必要はないと言っていた時期もある。

○自治会 三浦

越してきた時からこの状況。いきさつはよく承知していない。急いでもらいたい。その一念。

●藤田委員

第1案について、170戸の合意形成はできているのか。

○自治会長 立岡

負担金について、常識の線では100万円前後。163万は聞いたことがない。三田市が一律160万円。それ以外は100万円前後。負担金の問題だけ。

●藤田委員

地元がまだまとまりきっていない印象を受ける。

○自治会 三浦

3案4案は「水道」といえるのか。「水道」として皆さんの同意を得ている。

○自治会 二川

163万円でOKということにはならない。98%第1案で合意しているが。問題は負担金の額。

○自治会 若宮

わたしらは、ずーと第1案で行くつもりでおります。管の中見たら、ぼろぼろ。茶色で詰まっている。

●桑村副委員長

自治会側が第1案に決めているということは、理事者側から聞いたことがない

○自治会 若宮

要望に言った時にも言った。

●藤田委員

今後のため、記録は取っておくこと。

○自治会

申し入れ書は渡している。回答がない。

○自治会 岡本

議会として、水道が引けるようにリードしてほしい。163万円は自治会としては難しい。130万円ぐらいに抑えて、賛否採っては。

●藤田委員

163万円は根拠に基づいて試算した数字。自治会が130万円というのなら、その根拠が必要。

○自治会 矢野

163万円は、国庫補助金が決まった数字ではないのか。

●藤田委員

第1案で決定すれば、補助の段階に進む。

●桑村副委員長

委員会としては、委員会で検討して理事者側に要望する。自治会が第1案と決めているのなら、170戸の確保を進めるのは自治会の仕事。

●山本委員

第1案でいくとしても給水区域に編入するなどの法的手続きが必要。

○自治会 三浦

周辺の三木市・加西市・西脇市に聴いたが、そんなに難しい話はない。上下水道部の話は納得できない。

○自治会 二川

議会がみんな反対していると思っていたが、安心した。

●二階委員長

委員会としては配管予定路線を全部回って調査した。また、本日皆さんの意見も聞いた。3月8日に委員会を開催して食い違っている部分を精査する。

嬉野東地区は、東条町時代には「町水道は高いから要らない」と言っていた。

○自治会 若宮

平成4年からは東条町に要望している。公営水道にするため、道路も買ったし水道施設も買い取った。

○自治会 岡本

管理会社の東亜が倒産し、税金等も支払わなくなったため、自治会が買い取った。

○自治会 若宮

平成4年当時の東条町の水道担当者から、「道路が業者所有だから水道は付けられない」と言われた。

●井上議長

行政は、どの方法がいいか考えるためいろいろな案を出している。自治会は一刻も早くということだが、どの方法でするかまとめる必要がある。

○自治会長 立岡

自治会は当初から第1案でぶれていない。国庫補助をとって事業を進める。これ一本。有収率を85%に上げるための工事費用は、コンサルも算出できない。

●小紫委員

第2案3案が示されたのが1月25日。それ以降、上下水道部の部長・課長が出向いたことはないのか。

○自治会長 立岡

部長・課長の範囲を越えているので、「市長に会ってください」と言われる。

●桑村副委員長

部長・課長が「こうします」とは言えない。結論は市長。

●藤田委員

今日の意見交換を踏まえ、委員会で検討・調査し、当局に進言できるよう努力する。

「163万円」は国庫補助の認可があった場合。決まっていない。

○自治会 立岡

県からは「9割方、説明は済んでいる」

●藤田委員

認可されるかは、別の話。自治会は熱望されているから進めてほしい、とは言えても、負担金を幾らにしないで、とは言えない。

●二階委員長

本管から離れたところに家を建てると、負担金は100万円なんてとうに超える。

本日の意見を踏まえて、3月8日に市長部局とすり合わせる。

●桑村副委員長

閉会あいさつ

午後0時04分 閉会